



つくしんぼたより 11月号

平成29年10月25日
石原かがやきこども園
体調不良児保育
担当: 鈴木・青木

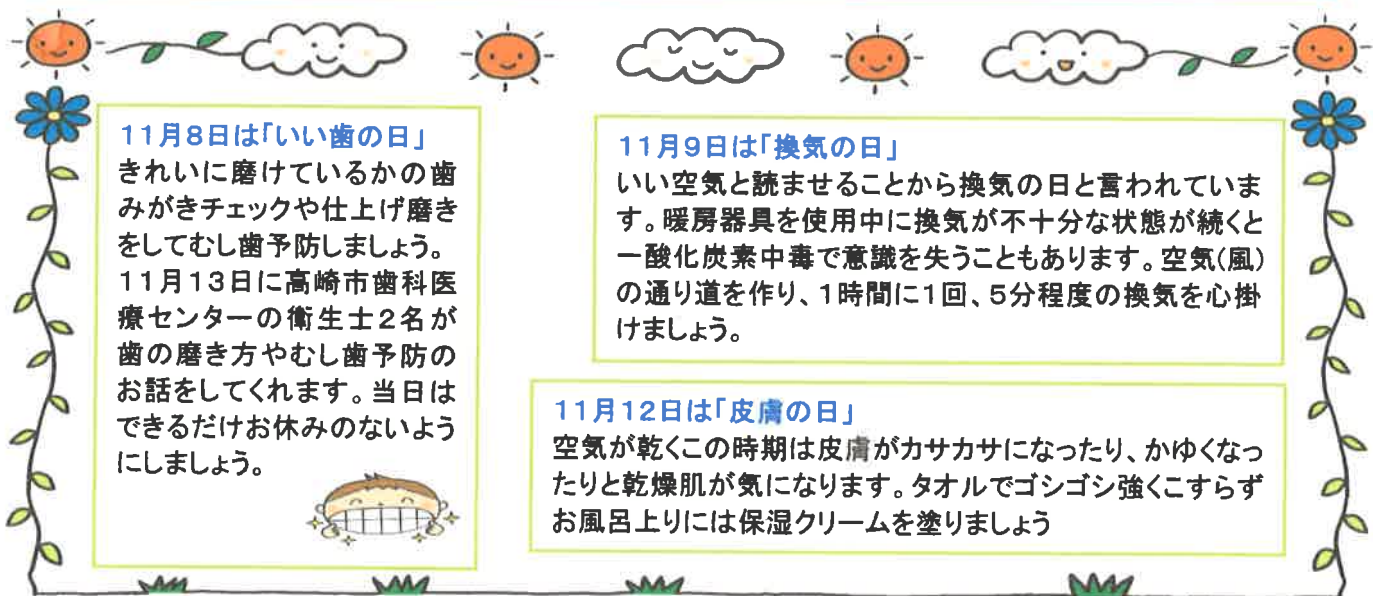
秋になり、葉っぱの色が赤や黄色へと美しく色付き始めました。落ち葉を拾う子どもたちも秋から冬への移りわりを感じているようです。冬に向けて心も体も元気に過ごせるよう、かぜ予防はしっかり行いましょう。

手足口病が流行っています (園内)

今月に入り手足口病に罹る子が増えてきました。症状は手のひら、足の裏、膝、肛門の周囲にぶつぶつとした赤い丘疹や水疱ができます。口内炎ができて食欲が落ちる場合もあります。

手足口病の症状が見られたら、かかりつけの小児科を受診しましょう。

手足口病の原因になるウイルスは、飛沫感染と子どもの便を介して感染します。おむつの処理や糞便を取り扱った後にはよく手洗いをしましょう。



11月8日は「いい歯の日」

きれいに磨けているかの歯みがきチェックや仕上げ磨きをしてむし歯予防しましょう。11月13日に高崎市歯科医療センターの衛生士2名が歯の磨き方やむし歯予防のお話をしてくれます。当日はできるだけお休みのないようにしましょう。



11月9日は「換気の日」

いい空気と触ませることから換気の日と言われていています。暖房器具を使用中に換気が不十分な状態が続くと一酸化炭素中毒で意識を失うこともあります。空気(風)の通り道を作り、1時間に1回、5分程度の換気を心掛けましょう。

11月12日は「皮膚の日」

空気が乾くこの時期は皮膚がかさかさになったり、かゆくなったりと乾燥肌が気になります。タオルでゴシゴシ強くこすらずお風呂上りには保湿クリームを塗りましょう

病気の話

溶連菌感染症

病気の説明

溶連菌(A群溶血性レンサ球菌)の感染によっておこる病気です。気道に感染して急性咽頭炎・扁桃炎を起こします。

多くは飛沫感染で人から人へとうつります。潜伏期間は2~5日です。

急な発熱と喉の痛みで始まり、しばしば嘔吐が見られます。舌の表面が白くなり、その後に赤くなってイチゴのように見えることがあります。(イチゴ舌)。

かゆみを伴った細かい赤い発疹が手足や腰のまわり、時には全身に出現することがあります。

幼児から小学生に多い病気です。

合併症として中耳炎や首のリンパ節炎を起こすことがあります。

溶連菌感染の1~3週間後には急性糸球体腎炎(むくみや血尿、高血圧が見られる)やリウマチ熱(関節炎や心炎などを起こす)などの合併症がみられることがあります。

溶連菌感染症と診断されたら、医師の指示に従って抗生剤を根気よく内服してください。

今月のつくしんぼ利用状況 発熱 3人

今月の感染症 手足口病 7人